

県内の遺跡2 馬高・三十稲場遺跡

国指定 昭和54年2月21日

所在地 長岡市関原1丁目字中原・字遠藤

長岡市街地の西方約10km、信濃川左岸の河岸段丘上に位置する。今から3千5百年～5千年位前の縄文時代後期の中ころから中期にかけての大集落跡です。明治30年代にはすでに発見されており、昭和10年以来いく度かの発掘調査が行われ、土器・石器をはじめとした多種多様な遺物が大量に出土しています。中でも、馬高遺跡から出土した火焰土器は、世界的な工芸品として有名で、平成2年に国の重要文化財に指定されています。また、三十稲場遺跡から出土した、蓋が付き刺突文で飾られた土器は、三十稲場式土器と呼ばれ、越後を代表する後期初めの標識的な土器です。



あしがき

今年の調査も佳境を迎えたようで、貴重な発見が相次ぎ、職員も蒲原・魚沼・頸城と各地に展開しています。4年間続いた清水上遺跡の現地調査は、数々の成果を収め、9月上旬に終了しました。なお、普及啓発事業の一環として実施した『親と子の考古学教室』も無事終了しましたが、予想以上の成果を収めました。(T)

(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団広報誌

埋文にいがた No.4

発行 (財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
〒951 新潟市一番堀通町5923番地46
TEL (025) 223-5642
FAX (025) 228-1762

印刷 有限会社 双葉印刷